

留学報告書

～トロントで出会った永遠の宝物～

ジョージブラウン大学
外国語学部生（中期延長）

私はカナダのトロントにあるジョージブラウン大学に約 8 か月間留学していました。これほど長い期間を一人で海外で過ごすというのは初めてだったので留学する前は緊張や心配もありました。しかし、それと同時に英語だけの環境や異文化交流など楽しみなこともたくさん考えながらカナダへ出発しました。早速カナダの乗り換えの空港でハプニングもありましたが長時間のフライトを終えて無事ホストファミリーの待つ家まで到着し、温かく出迎えてくれました。ホストファミリーはフィリピン人の方で、私以外にも中国人の留学生 3 人とベトナム人の留学生 1 人で一緒に生活していました。そしてカナダについた日の翌日にはジョージブラウン大学でクラス分けのテストがあり、その数日後にはオリエンテーションやフィールドトリップにも行き、時差ボケもまだ治らないうちにたくさんのスケジュールがありました。

また、ホストファミリーも学校が始まると忙しくなるだろうからといって新学期が始まる前に 2 時間ほど車を走らせて全員でナイアガラの滝に連れて行ってくれました。あれほどの大自然を身近で感じたのは初めてでとても貴重な体験ができました。ナイアガラの滝を見た後は近くのアウトレットにも連れて行ってくれてカナダの寒い冬を乗り越えるために必要なものを教えてくれました。

そして新学期が始まり、ロビーにクラスが張り出されていてレベル 1～9 までである中、私はレベル 5 というちょうど真ん中くらいのクラスからのスタートでした。このクラスでは文法やエッセイの書き方の基本、グループディスカッション、プレゼンテーションなどの基礎を教わりました。クラスメイトはベトナム人、中国人、トルコ人などあらゆる国からの留学生ばかりでとても新鮮でした。また、同じレベル 5 というクラスなのに中にはとてもスピーキングが上手で流暢に話せる人もいましたし、日本人に比べると積極的な人が多かったのが最初は慣れずに焦りも感じていました。しかし、クラスメイトは全員留学生なので英語が完璧な人は誰一人おらず、みんなが先生やクラスメイトに質問しながら授業をしているのを見て、私も焦らずに分からないことは聞きながら授業を受けて 2 か月後のクラス替えの時は無事次のレベル 6 へ昇級することができました。

レベル 6 になると授業の難易度が一気に上がったのを感じました。このクラスではレベル 5 で学んだエッセイやプレゼンテーションの基礎を使って課題を完成させるというのが授業の目的でした。エッセイのトピックが専門的で難しかったり、20×20 pechakucha presentation という特殊なプレゼンテーションをしたりしました。このプレゼンテーションは日本語の「ぺちゃくちゃ」という言葉がそのまま使われている海外でよく行われてい

るプレゼンテーション方法の一つで20枚のスライド×1枚につき20秒という縛りをつけて行うことによって普通のプレゼンテーションよりも短時間で情報量の多いスピーキング能力を身に着けるのに有効だと先生が言っていました。

この他にもレベル6では当日にしかトピックが教えてもらえないスピーキングのテストやディスカッションを通じてアドリブでも英語が話せるようになるための練習やグループでのディベートで賛成派と反対派に分かれて意見を言い合う本格的なテストもありました。

私はこのレベル6のクラスを受けて初めて日本とは違う留学先大学での授業・勉強の大変さと難しさを感じました。

そしてクラスメイトと助け合いながらレベル6を合格し、レベル7のクラスに進みました。レベル7になるとさらに難易度が上がりました。ミニプレゼンテーションが2週間に1回くらいのペースであったのでトピックについての資料調べやパワーポイントの作成など準備が忙しく、当日の発表もスライド以外何も見ずに話さなければなりません。また、大きな課題として期末のグループプレゼンテーションがありました。4人1組になってそれぞれのトピックについて発表しました。トピックは専門的で難しいものばかりで私のグループはタイプ別子育て方法の違いについて調べて発表しました。授業中にグループで準備する時間はなかったので終わった後に残ってみんなと合わせて練習していました。とても大変でしたが、その分クラスメイトと助け合いながらやっていたので自然と仲も深まり、授業の最終日にはみんなで教室を使ってお菓子パーティーを開いて楽しみました。音楽を流しながらダンスしている子がいたり先生や友達と話したりしてレベル7最後の日を過ごしました。

レベル7が終わるといよいよ最後のレベル8のクラスです。このレベルを合格するとESLの卒業認定がもらえると決められていてとても難しかったです。授業最終日までの合計で成績が6割を超えていないと合格できないのですが、私はクラスがスタートして最初の方はテストで6割以下の点数ばかり取ってしまい、ジョージブラウン大学に来て以来初めて単位を落としてしまうのではないかと危機感を覚えました。しかし、このクラスが帰国前最後のクラスであることとESL卒業がかかっていることを再確認し、合格して日本に帰らないと絶対に後悔すると思い、より勉強に力を入れて少しずつ成績を取り戻していきました。

しかし、最後で再び大きな壁にぶつかりました。それは1500ワードのエッセイを書くという課題でした。日本では多くても500ワードほどの文章しか書いたことのなかった私にはとてつもない量でトピックも自分で考え、参考文献を用いてきちんとした理由付けのもと書かないといけなかったのでエッセイを書く前の下調べも時間をかけて行い、自分の意見を英語で表現することも大変でした。とても大変な授業でしたが、合間の休憩時間にクラスメイトとコーヒーショップに出かけて息抜きしたりして小さな楽しみもあり、乗り越えられました。

そして無事にレベル 8 を合格し、卒業セレモニーに出席しました。今までお世話になった各レベルの先生やクラスメイトが一斉に集まったので懐かしさも感じつつ別れが寂しくなりました。また、先生から卒業証明書を受け取ると辛くて大変だった授業やテストもありましたが頑張ってたかったなど今まで感じたことのないような達成感を味わうことができました。

この 8 か月間の留学を通して日本では経験することのできないことをたくさん経験し、学ぶこともたくさんありました。英語だけの環境や授業スタイルの違い、生活・文化の違い、ホストファミリーとの生活などすべてが私にとって新鮮で新しい仲間に出会うこともできた素晴らしい思い出になりました。



